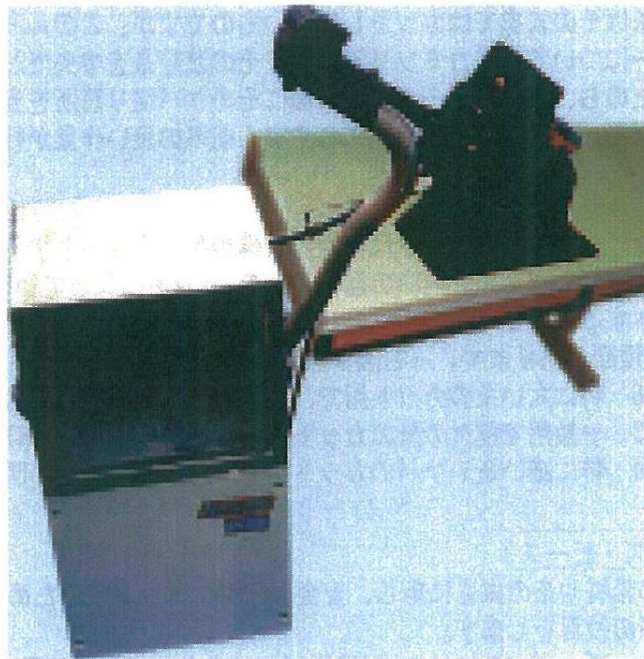


TRIMMASTER

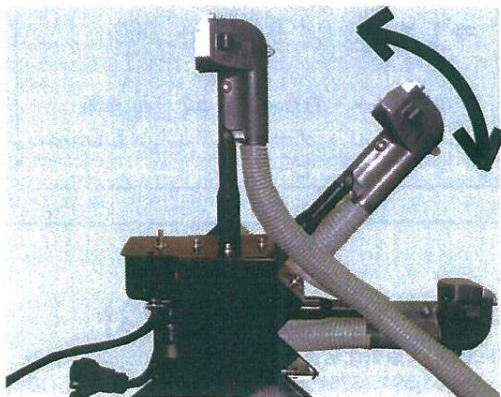
モデル SCT

ショートカットトリマー

- * 直結モーター付ケバ切り機です。
- * 任意のテーブルにおいて使用できる、ボックスタイプです。
- * さらにコストダウンを図ったエコノミー・タイプ！！
- * 糸くずの集塵には、任意のバキュームが併用できます。



ケバ切り機に、さらにコストダウンのエコノミー・タイプ登場！！
ボックスタイプで安定性が増しました。



トリムマスター ケバ切り機に直結モーター駆動のエコノミータイプのニューモデルが誕生しました。

このモデルSCTは、ボックスタイプで土台のスタンドは安定性が良く、任意のテーブルに置いて使用できます。クリッパーヘッドの高さやアングルは本体に付いているノブをゆるめるだけで簡単に変更でき、オペレーターや、製品に応じた最も作業性の良い位置に素早くセットできます。

モデルSCTの糸くず集塵には、ヤマトYV-2000が使用できます。

作業は従来のトリムマスターと同様、縫製品のケバや糸端が出ている箇所をクリッパーヘッドに当て、左から右へ移動させるだけで、内側にある回転刃と外側の固定刃により糸端は簡単にカットされます。

ハサミでカットする場合に比べ非常に能率よく、しかも安全なクリッパーブレード機構により、製品を傷つけることなくケバ切り作業が行え、バキューム併用式により切られた糸くずが再び製品に付着するようなことはありません。

モデル：SCT…ポータブルケバ切り機（本体のみ）

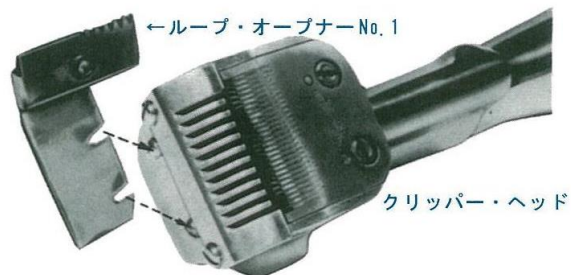
電 源：SCT…単相、115V/230V、50/60Hz

バキューム YV-2000S…単相、100V

YV-2000… 3相、200V

ループ・オープナー(No.1)

このループ・オープナーはボタンホールなどのように残り糸が渡っている場合に便利であり、クリッパー・ヘッドの側面に2個の止ネジで取り付けて使用します。渡り糸はそのままではカットしにくいものですが、このループ・オープナーについているカミソリ刃によりその渡り糸を中央で2本に分断したのちクリッパー・ヘッド面にそのケバ切り箇所を当てると、糸端がバキュームにより吸い込まれやすく能率の良い作業が行えます。

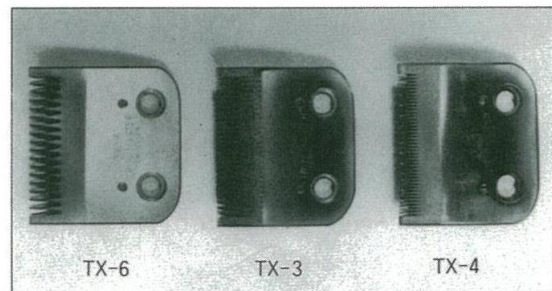


クリッパー・ブレード

このクリッパー・ブレードは実際に糸端やケバをカットするパーツであり、外側の固定刃と内側の回転刃との1セットになっています。カットする糸やケバの太さに応じ刃の大きさやその間隔が異なる次の3種類があります。

(右図参照)

- TX-6……特に太い糸のカット用で刃が大きくその間隔も広い。
- TX-3……一般用で種々の糸のカットに使用できます。(標準)
- TX-4……特に細い糸やケバのカット用で刃が小さく、その間隔も狭い。



ノーズ・ピース

製品の素材や糸の太さに応じ安全・確実にカットするための一種のガイドの役目をします。このノーズ・ピースには次の4種類があります。(右図参照)

- #1……ミゾの間隔が非常に細かい。
- #2……ミゾの間隔が中程度。(標準)
- #3……ミゾの間隔が広い。
- #4……ミゾの間隔が非常に広い。

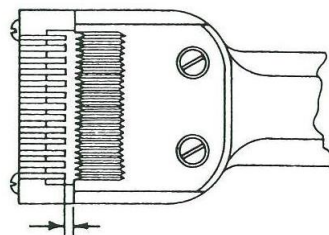
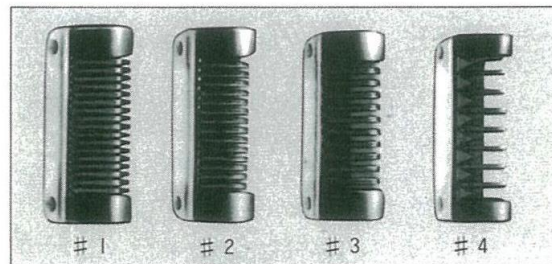
以上の#1～#4のノーズ・ピースには各々Dタイプ(TX-3, TX-4用)とFタイプ(TX-6用)とがあります。

ノーズ・ピースとクリッパー・ブレードのすき間

右図のようにノーズ・ピースとクリッパー・ブレードの間には糸が入るすき間があります。このすき間の広さによりカットできる糸の太さが異なります。このすき間はノーズ・ピースにより決まり、DまたはFタイプの#1～#4の各々のノーズ・ピースに於て次の4種類のすき間のものがあります。

- #020……約 0.5 mm
- #060……約 1.6 mm (標準)
- #040……約 1 mm
- #080……約 2 mm

注記：モデル QR をご注文時にはこれらクリッパー・ブレード及びノーズ・ピースをご指定下さい。



例 (標準の場合) ⇒ TX-3/D2-060

↓ クリッパー・ブレード
↓ Dタイプ
↓ #2
↓ ノーズ・ピース
↓ すき間
1.6 mm